



令和6年度もよろしくお祈いします

昨年度の「わくわく通信202号」で、「和魂洋才」という日本古来の精神を失わず、西洋からの優れた学問・知識・技術などを取り入れ、両者を調和・発展させていく日本の可能性や今後の在り方について掲載しました。これは教育にも当てはまります。日本の明治維新後の近代教育は、江戸時代までの長い歴史を経て形づくられた文化と教育の伝統を守りつつ、欧米先進国の教育を模範としながら、発達してきました。



このような日本の教育は、今では、海外からも称賛されています。学級会、日直、掃除…。日本の学校で当たり前に行われている「特活(特別活動)」を中心とする日本式教育の実践が、「Tokkatsu」としてエジプトで広まっています。これは、エジプトのシシ大統領が来日したときに、日本の小学校に視察に訪れ、学力だけではなく、子供たちが協力して清掃や学級活動などを行い、規律ある風土や、主体性、協調性、社会性などが身に付く日本式教育に感銘を受けられたことがきっかけとなりました。その後、2018年秋にエジプト日本学校(EJS: Egypt-Japan School)を開校させ、現在では、EJS校は51校となり、エジプトの子供たち、さらには社会を変えていく政策となっています。

このように、世界も注目されている特活に加え、心の教育を基盤とした、道徳によって、帯西の子供たちは成長していると言えます。先行きが不安で未来を見通せない暗い状況にあり、ブラックな仕事と揶揄されているこの業界だからこそ、本校の帯西レンジャーを活用した道徳教育によって、カラフルで前向きな心と行動のエネルギーを発揮させ、まさに和魂洋才という日本独自の教育活動に取り組んでいきたいと思っています。今年度もよろしくお祈いします。

新しい先生方です!

担任	渡邊 育子	五福小学校より
担任	金栗 美麗	杉上小学校より
担任	崎山 武志	新規採用
担任	和田 由紀子	白山小学校より
主事	元松 満千明	熊本市西区役所より
支援員	末田 稔	東野中学校より

令和6年度 学校教育目標

豊かな心で主体的に活動し、

みんなが「わくわく」する学校創り

～子供たちが帯西レンジャーと共に活躍する学校～

今年度も子供たち自身が「わくわく」を創り出しながら、「帯西レンジャーと共に活躍する」子供たちになって欲しいという願いを込めています。

「4つの心」で目標やめあてを交流しました!

今日の始業式では、子供たちに、目標やめあてについて発表してもらいました。実は、令和5年度の3学期の修了式では、子供たちに春休み期間中の宿題を出していました。その宿題とは、「目標やめあてを考えておく」というものです。レッドの心でめあてを立てている子供は「少しだけ泳げるようになりたいです。そのためにプールやお風呂で息継ぎの練習をします。」、グリーンの子供は「毎日挨拶をして、みんなと仲良くなりたいです。」、イエローの子供は「学校のリーダーとして、一つ一つのことに責任をもってがんばる。」、ブルーの子供は「虫などの命を大切にする」などと目標やめあてを発表し、それぞれ新学年としての意欲を感じることができました。一人一人の力は、学級の力となって、一つ一つの学級の力が「わくわく」する学校の力になっていくのです。

